

巻頭インタビュー

ニカラグアから宮城に来て
—外国出身者が取り組む介護の仕事—

小松 リリアナさん

ニカラグア共和国出身

NPO法人あいの実 訪問介護員

—まずはお出身について教えていただけますか？

中南米ニカラグア北部のヒノテガ市生まれです。内戦の影響で国内の複数の都市に住んだ経験がありますが、一番長く住んだのは首都のマグア市から北西約90kmに位置するレオン市です。海に近く、川もあり、日中暑い日でも朝晩は涼しく過ごしやすい気候の都市です。8人兄弟の4番目で、兄弟が多い上に、近所に親戚の家もあり、夏になると、週末はいつも家族や親戚と近くの海や川に行きました。普段の日も、学校が終わった後、いとこ達と遊びました。日本のようにたくさん人や車が通るわけではないので、道路の真ん中で野球やサッカーをし、お腹がすくと、庭にあるマンゴーやグアバの木から果実をとって食べました。のんびりした環境で、元気に遊び回った子ども時代でした。

—そんなリリアナさんが、どうして仙台に来られることになったのでしょうか？

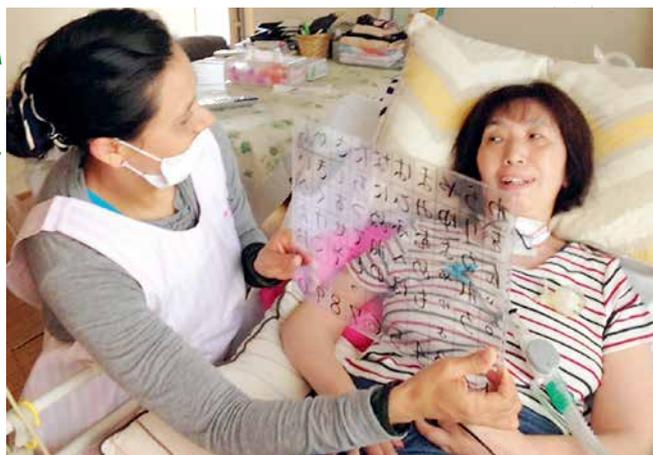
法律の勉強をしていた学生時代に、暴力被害に遭った女性をサポートする団体で活動していた関係で、経済的に困難なニカラグアの人の健康を支援する活動をしていた日本の団体とつながりを持ちました。そこで日本から来ていた鍼灸師の夫と知り合い、結婚して夫の故郷、仙台に来ました。21歳でした。来たばかりの頃は言葉も生活習慣も違い、不安な日々を過ごしました。でも、だんだんと「しっかりしないと!」と思うようになり、日本語の勉強を頑張りました。MIAの日本語講座に通った時期もありました。

—子育てをしながら、お仕事も始められたそうですね？

20歳の長男と17歳の長女がいますが、長女が1歳の頃に地元のスーパーで働き始め、8年程勤めました。ベーカリー、精肉、青果のコーナーなどを経験しました。商品を並べたり、廃棄したり、様々な仕事をしましたが、他のパートの人達が親切にいろいろ教えてくれました。働くことで日本語を話したり読んだりする能力は向上しましたが、それ以上に、コミュニケーションをとる時には相手への思いやりや心の深い部分で通じ合うものを共有することが大事だということを学びました。習っていた生け花でも、同じことを感じました。家の中にだけいたら、分からないことだったと思います。

—その後、介護のお仕事を始められたのは、何かきっかけがあったのでしょうか？

もう亡くなりましたが、同居していた舅が脳梗塞を患い、認知症も発症



文字盤を使って、利用者とコミュニケーションをとるリリアナさん

したことから、自宅で長く介護をしました。何度も同じことを聞いてきますし、着替えや歯磨きも大変でした。冷たい態度をとってしまい、「これでいいのか…」と悩み、一方では正しい接し方を知りたい気持ちもあり、介護の勉強をしようと思いました。5年前でした。友達に、訪問介護事業を展開している仙台市泉区の「NPO法人あいの実」を紹介してもらい、ホームヘルパー2級(訪問介護員養成研修2級課程)の資格を取りました。現在は、ALS(筋萎縮性側索硬化症)など重い病氣や障害を持つ、子どもから60代の方まで様々な世代の約10人を担当しています。

—具体的に、どんなお仕事をしていますか？

利用者のご自宅に伺い、必要に応じて、他のヘルパーや看護師とも協力しながら、体の姿勢を変えたり、痰の吸引をしたり、排泄の介助をしたりといった様々なケアをしています。難しいのは、ALSの方の介護です。筋力が低下する難病ですから、体の中で動かせる部分のごく一部という方がいらっしゃいます。唇しか動かさない方の場合は、そのわずかな動きがセンサーで読み取られ、パソコンを通じて「足を動かして」「ここが痒い」といったメッセージが届き、それをもとに介護に当たります。目だけ動かせる方の場合は、文字盤の文字を私が順に指差していき、該当する文字まで来たら目で合図を送っていただくことで、コミュニケーションをとります。ただ、そうしたやり方を淡々と進めるだけでは不十分で、利用者に心身の負担をかけないように、文字盤の「く」を示されただけで、「口をどうしてほしいのか」を理解できるような、察する力も必要です。

—やりがいや今後の目標について、教えてください。

利用者の中には、デリケートな方や「こうしてほしい」という細かいご希望がある方もいらっしゃいます。心を許していただけるようになるまでには涙が出ることもあります。だからこそ信頼関係を築けた時の喜びは大きく、やりがいを感じます。とかくマイナスのイメージがある介護職ですが、自力での生活が難しい利用者と心を通じ合わせながら、それぞれの方の生活を支える意義ある仕事です。言葉でのやり取り以上に相手を理解しようとする心や喜びを持って仕事に当たる気持ちが大切で、そうした思いがあれば、言葉や国籍に関係なくできると思います。私自身はこの仕事を続けるつもりで、来年1月の介護福祉士の試験に合格できるよう、今はその勉強を頑張っています。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2016年10月～11月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2016	10	S	M	T	W	T	F	S	11	S	M	T	W	T	F	S
	10							1	11			1	2	3	4	5
	2	3	4	5	6	7	8		6	7	8	9	10	11	12	
	9	10	11	12	13	14	15		13	14	15	16	17	18	19	
	16	17	18	19	20	21	22		20	21	22	23	24	25	26	
	23/30	24/31	25	26	27	28	29		27	28	29	30				

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方 人:主催 建:会場 時:時間 申:申し込み 料:参加費 電:電話 FAX:FAX Eメール HP:ホームページ

10月 OCTOBER

10～11月 第2・第4木曜日

※10/13、10/27、11/10、11/24

英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座

- 松島善意通訳者の会
- 松島町勤労青少年ホーム
- 【英会話入門・初級】13:30～15:30【ボランティアガイド養成講座】15:30～17:00
- 電話・メール
- 無料、教材は自己負担
- FAX 022-354-3678(大浦)
- hoshido_mutsuo@ybb.ne.jp
- http://www.geocities.jp/matsushimagw/

10～11月 第3水曜日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 宮城県行政書士会
- 仙台市青葉区役所 4階 市民相談会会場
- 13:00～16:00
- 電話受付または予約なしでもOK
- 無料
- 022-261-6768
- FAX 022-261-0610

10～11月 第3土曜日

外国人の市民とその家族及び関係者のためのVISA・生活無料相談会

- NPO法人 ビザ&ライフサポートインみやぎ
- 大崎タイムズ社(大崎市古川)
- 11:00～14:00
- 電話にて。当日直接も可能。
- 無料
- 090-7937-6716
- FAX 022-358-1250
- http://www.visa-life-support.jp/

10月 毎週日曜日と祝日

瑞巖寺ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 瑞巖寺
- 10:00～15:00
- 不要(現地へ直接)
- 入場料700円は自己負担
- FAX HP ※英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座と同じ

10月 毎週日曜日

円通院ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 円通院
- 10:00～15:00
- 不要(現地へ直接)
- 入場料300円は自己負担
- FAX HP ※英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座と同じ

1日

- 世界食料デー仙台大会
- 世界食料フォーラム・仙台

- 日本聖公会 仙台基督教会
- 13:30～15:00
- 料 不要
- FAX 022-217-4611
- naoya2naoya@yahoo.co.jp

2日

歩いて巡る地域歴史散策～第37回仙台三十三観音巡り第3行程第26番～第33番札所

- NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 集合場所:①JR南仙台駅前1番バス乗場前 ②第31番札所(落合観音堂)内
- 集合時間:①8:00 ②8:45
- ※9:00出発～15:30解散予定
- 要(電話・FAX・メール、定員50名)
- 一般2,500円 楽遊ネット会員2,000円(保険料・小冊子込)
- 022-261-9869
- FAX 022-261-0546
- eikaiwa.usaclub@dream.ocn.ne.jp
- http://www.eikaiwa-sendai.jp/rakuyuu.html

10日

「せんだい地球フェスタ2016」参加 エスペラント語展

- 仙台エスペラント会
- 仙台国際センター 展示棟
- 10:00～16:00
- 料 不要
- FAX 022-389-1620
- esperanto@goo.jp
- sendaiesperantokai@jimdo.com/

11日

MIA日本語講座初級1・2クラス

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 宮城県仙台合同庁舎 7階
- 10:00～12:00(毎週火～金)
- 要(電話・FAX・メール)
- 24,000円(テキスト代別)
- 022-275-3796
- FAX 022-272-5063
- mail@mia-miyagi.jp
- http://mia-miyagi.jp/

MIA日本語講座中級クラス

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 13:00～15:00(毎週火・木)
- 12,000円(テキスト代別)
- HP ※初級1・2クラスと同じ

MIA日本語講座夜間初級1・2クラス

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 18:30～20:30(毎週火)
- 12,000円(テキスト代別)
- HP ※初級1・2クラスと同じ

14日

MIA日本語講座漢字1・2クラス

- 公益財団法人宮城県国際化協会
- 13:00～15:00(毎週金)
- 7,200円(テキスト代別)
- HP ※初級1・2クラスと同じ

19日

魯迅先生逝世80周年碑前祭と留学生昼食交流会

- 仙台魯迅先生顕彰会
- (碑前祭)仙台市博物館「魯迅の碑」前(交流会)銀座ライオン一番町店
- (碑前祭)10:30～(交流会)12:00～
- ※碑前祭終了後予定
- 宮城県日中友好協会
- (交流会)会費3,000円
- FAX 022-274-3811
- jcfa-miyagi@rose.plala.or.jp
- http://www.16.plala.or.jp/miyagikenn/

27日

日本人の起源を探る

- アフリカ・セミナーの会
- 仙台国際センター 研修室
- 10:00～12:00
- 料 不要
- 1,000円
- FAX 022-362-7907

29日

異文化理解講座(エチオピア国について)

- 松島善意通訳者の会
- 松島町文化観光交流館 1階 会議室
- 10:30～12:00
- 電話・メール
- 無料
- FAX HP ※英会話・ボランティア松島観光ガイド養成講座と同じ

30日

NPO MISO Halloween Party 2016

- 特定非営利活動法人 Miyagi International Support Organisation
- 仙台市広瀬文化センター
- 13:00～15:00(受付12:30～)
- 要(9月26日～10月17日に、メールで申し込み。定員100人。先着順)
- 500円/子ども(0歳～小学6年生)1人
- ※同伴保護者は参加費不要
- 022-385-5626
- FAX 022-385-5965
- npomiso@yahoo.co.jp
- facebook:「MISO」で検索して下さい。

11月 NOVEMBER

12日

国際語紹介「ようこそ、エスペラントへ」

- 仙台エスペラント会
- 仙台市民活動サポートセンター 研修室5
- 13:30～15:30
- 電話・FAX・メール(当日直接参加も可)
- FAX HP ※10月10日と同じ

17日

アフリカ大陸の溶岩の湖

- それは何を我々に教えるか
- アフリカ・セミナーの会
- HP 料 不要 FAX ※10月27日と同じ



MIA日本語講座2016年第2期開講!

10月からMIAの日本語講座が始まります。身近に日本語を勉強したい外国人がいいたら、ぜひご紹介ください。多言語(日英中韓)のチラシも用意しています。

クラス	曜日	時間	期間	テキスト	受講料	定員
初級1・2	火～金	10:00～12:00	10月11日(火)～2月10日(金)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥24,000 ※テキスト代別	初級1・2 各20人
中級	火・木	13:00～15:00	10月11日(火)～2月7日(火)	『中級へ行こう 日本語の文型と表現55』	¥12,000 ※テキスト代別	20人
漢字1・2	金	13:00～15:00	10月14日(金)～2月24日(金)	『使って覚える楽しい漢字1』 『使って覚える楽しい漢字2』	¥7,200 ※テキスト代別	漢字1・2 各20人
夜間初級1 夜間初級2	火	18:30～20:30	10月11日(火)～3月7日(火)	『日本語初級1大地』 『日本語初級2大地』	¥12,000 ※テキスト代別	初級1・2 各15人

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック」

編集:日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス実行委員会

日本の教育制度や宮城県の高校入試の仕組みなどについて多言語で解説したガイドブックで、今年度用に内容を一部改訂しました。

公立高校の前期選抜、後期選抜、私立高校の専願、一般入試など、高校入試にはいくつかの方法があり、日本語能力が限られている方は、正確な情報を日本語だけの資料から入手するのは非常に難しいと思います。中国語、韓国語、英語、タガログ語、スペイン語版があるので、ぜひご活用ください。

■MIAで配布しているほか、ガイダンス実行委員会のウェブサイトからダウンロードすることもできます。

<http://shinro-miyagi.jimdo.com/進路ガイドブック/>

■送料をご負担いただければ、郵送いたします。詳しくはMIAにお問い合わせください。※1言語1部ずつのみの配布となりますので、ご了承ください。



JICA東北からのお知らせ

所在地 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階
TEL 022-223-4772 FAX 022-227-3090 E-mail thictpp@jica.go.jp
JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています)

JICAボランティア2016年度秋募集「体験談&説明会」開催のお知らせ

「体験談&説明会」では、JICAボランティア経験者の体験談発表がパネルトーク形式で予定されているほか、個別応募相談が可能です。宮城県での開催は以下のとおりです。予約不要、入場無料、入退場自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

■「体験談&説明会」日程

(全て青年・シニアの合同開催)

- 10月6日(木) 19:00-21:00
AER6階 ネットU セミナールーム2(B)
- 10月15日(土) 19:00-21:00
仙台第一生命タワービル20階 JICA東北
- 10月22日(土) 10:00-12:00
仙台第一生命タワービル20階 JICA東北
(おススメ企画)
- 10月6日(木)
「漫画家 井上きみどりさんとボランティアOBIによるパネルトーク」
- 10月15日(土)
「二本松訓練所所長による合格必勝講話」「分科会形式による何でも相談会」
- 10月22日(土)
「参加型ミニワークショップ“もしも、あなたがJICAボランティアだったら”」



■JICAボランティア2016年度秋募集期間

●9月30日(金)～11月4日(金)

※青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティア:

2017年4月1日時点で、満20歳以上かつ2016年11月4日時点で満39歳以下の方で日本国籍を持つ方

※シニア海外ボランティア及び

日系社会シニア・ボランティア:

2016年11月4日時点で満40歳から満69歳までの日本国籍を持つ方

JICAボランティアウェブサイト

(<http://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>)
応募書類もウェブサイトからダウンロード可能です。

個別の応募相談をJICA東北にて行っております。お気軽にお問い合わせください!

MIA情報便



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 ✉mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。



平成28年度国際協力セミナー「多様化する留学生と日本の国際貢献 ～東北大学とJICA東北の取組～」開催のお知らせ

今年で開催16回目となる国際協力セミナー。今回は、「留学生30万人計画」に基づき世界各国から2,000人超の留学生を受け入れている東北大学の多様な取り組みとともに、「ABEイニシアティブ」や政府開発援助(ODA)によるアジア、アフリカからの留学生受け入れプログラムについて理解を深め、国際協力・国際貢献の観点からの留学生受け入れについて考えます。なお、各種プログラムで来日中の留学生にも参画してもらい、留学生の声を直接聞ける場を設ける予定ですので、皆様のご来場をお待ちしております。

日時：2016年10月29日(土) 13:30～15:30(開場13:00)
会場：JICAプラザ東北
(仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル20階)
主催：公益財団法人宮城県国際化協会(MIA)
独立行政法人国際協力機構東北支部(JICA東北)

定員：50名(要申込)
入場料：無料
申込：E-mailまたはFAXにて必要事項(名前、ご職業、連絡先)を明記の上、お申し込みください。
(公財)宮城県国際化協会
TEL：022-275-3796
FAX：022-272-5063
E-mail：mail@mia-miyagi.jp
申込締切日：2016年10月26日(水)

※詳細は、宮城県国際化協会(<http://mia-miyagi.jp/>)及びJICA東北ホームページの「イベント情報(<http://www.jica.go.jp/tohoku/event/index.html>)」にて随時掲載予定です。

技能実習生との交流、楽しく進んでいます!「技能実習生と地域をつなぐプログラム」のご報告

倶楽部MIA Vol. 86でもご紹介していますが、近年、宮城県内では技能実習生の数が大幅に増えており、現在、2千人以上の実習生が水産加工業や建設業などの現場で働いています。

地域産業の貴重な担い手となっている一方で、技能実習生と地域社会とのつながりが密接であるとは言えず、地元自治体もその存在を十分に認識していないケースも見られます。

そうした状況を受けて、今年度MIAでは、技能実習生と地域住民とが「顔の見える関係」となることを目指した「技能実習生と地域をつなぐプログラム」を実施しています(自治体国際化協会「多文化共生のまちづくり促進事業」助成事業)。

この事業は、事前研修に参加した「地域交流サポーター」と塩釜市内の企業で働くインドネシア人技能実習生とが定期的に集い、「日本語交流教室」、「交流会の企画運営」、「街歩き」といったさまざまなプログラムを通して交流を深めていく、というものです。

現在、16名のサポーターと20名ほどの実習生が楽しく交流を続けていて、10月には栗原市国際交流協会主催の芋煮会に参加する予定となっています。

職種の拡大や期間の延長などが見込まれており、技能実習生の数は今後も増えることが予想されます。このMIAのプログラムが、実習生と地域社会とのかかわりを考える際の一つのモデルを提示できるものになれば、と考えています。



MIA法人賛助会員ご紹介コーナー

東北電力株式会社(本社・仙台市)

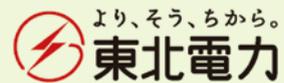


昭和26年の創立以来、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という基本的な考えのもと、「地域社会との共栄」を経営理念に掲げ事業を営んできました。

昨年公表した新しいコーポレートスローガン「より、そう、ちから。」には、お客さまのご要望に「より沿う」サービスを提供する、地域の成長・発展に「寄り添う」取り組みを継続する、という2つの想いを込めています。このスローガンのもと、エネルギーの安定供給を通じた地域への貢献はもちろん、地域活性化に資する多彩な活動を目指しています。

国際協力の面では、開発途上国の電気事業の発展を目的とした研修生の受け入れや現地への講師派遣を行っています。また、地域の国際化の推進や国際化を担う人材育成の観点から、国際セミナーへの協力や東北日本カナダ協会の運営に取り組んでいます。

東北日本カナダ協会は、平成2年、文化、経済等の交流を通じて東北とカナダとの相互理解を深め、友好親善関係を促進することを目的に設立され、昨年、設立25周年を迎えました。活動の1つであるクリスマスパーティーは、震災以降、復興支援チャリティーとして実施しており、募金と参加費の一部を、震災・津波遺児を支援する活動を行う「あしなが育英会・東北事務所」に寄付しています。



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただく個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員 / 1口 3,000円
団体会員 / 1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎ 協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
- ◎ 当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎ 個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引(株)JTB東北仙台支店 宮交観光サービス(株)
- ◎ 企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供
- 入会方法
◎ 本協会あて御連絡ください。
所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.87

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通兩宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL <http://mia-miyagi.jp/>

